

○夢を追い続ける人になろう！

皆さんの“夢”は何ですか？ 夢は10回、人に話すと良いでしょう。“口”に“十”と書いて、『叶う』と書くからです。逆に、言い過ぎは良くありません。“口”に“十一”と書いて『吐く』と書くからです（笑）

実際に、夢は口にしなければ何も始まりません。しかし、語ることに労力を使い過ぎると、いっこうに前へ進めないのも事実です。

なぜか？ “夢を語る”ということ、そのものが満足度の高い行為だからです。これまで夢を持ったことのない人が、やりたいことを見つけ、それを誰かに伝えると、誰もが「がんばって」「すごいね」と言ってくれます。何一つ成し遂げてもないのに、夢を語るだけで称賛されるのです。その気分を味わい続けたいので、色々な人に夢を語るようになります。その夢を叶えるのは、そんなに簡単ではありません。夢のサイズにもよりますが、地道な努力を相応の期間続けなければ叶わないのが普通です。

例えば、『アメリカで起業し、世界的な企業に育てる』という壮大な夢に向かって、いざ英語の勉強を始めようとしても、何からやったらいいかわからない。勉強しようとしたら、学生時代に習ったことを忘れていた。そして、何といても、英語を勉強するだけでアメリカで起業できるかということ、そんなわけがないことに気付いた…」

夢を語れば、「凄いね」と称えられていたのに、いざ行動を起こそうとすると、自分がいかに“凄くないか”を目の当たりにすることになります。不断の努力が夢を叶えるのに必要なはずなのに、夢を語って現実逃避することを覚えると、そのまま時間を浪費し、結局は「今は目の前の仕事がすごく忙しい。会社からも必要とされているし、英語の勉強もなかなか…」と言い始めることになるのです。夢が実現するかどうかはともかく、その夢を語ってばかりいる人は、なかなか具体的な行動を始められません。

一方、夢を追い続ける人は、夢を語ることにそれほど労力を要しません。そんなことより、具体的にどうすればいいのか、今ぶつかっている壁をどのように乗り越えるのかを考えます。考えて行動することの大切さを、高校生のうちから身に付けておくことが肝心です。たとえ夢が叶えられなくても、必死に考えて行動したことは、一生の財産になるはずで。ひょっとすると、その努力で得たものが、“夢”を叶えるアイテムとなり得ます。就職試験で夢を語った人は多いはずで。内定をもらうために語った夢に終わらせず、是非、行動に移してみましよう！

○開校記念日

10月23日は本校の開校記念日です。昭和14年に開校して今年で81年目を迎えました。開校は4月ではないのかと思いますが、昭和17年10月23日に現在の詩歌の森公園・日本現代詩歌文学館がある場所で開校落成式を行ったことで、この日を開校記念日としています。そして、昭和55年4月1日に現在の校舎に移転しています。

『温故知新』と言いますが、この機会に本校の歴史と伝統を振り返ると共に、これから新たな伝統を築き上げるためにも、全校生徒が一致協力して邁進して行くことが大切です。皆さんの頑張りで、より良い黒沢尻工業高校にして行きましよう！

夢は目指した時から目標に変わる。

by 羽生 善治(将棋棋士)